

平成 16 年度 / 第 1 回 理事会 議事録

日 時：平成 16 年 5 月 21 日（金）18 時 30 分～19 時 30 分

場 所：電気学会第 1～5 会議室

出席者：川村会長，長谷川会長代理，鈴木・生駒・雨谷・尾形 各副会長，臼田・高木・松瀬・佐々木 各常務理事，村岡専務理事，井上・石井・下位・大西 各部門長，森泉 E 準部門長，西谷・前川・塚本・松井・作井・島崎・白髭・原田（代理：竹垣）・芦塚 各支部長，平塚・貞川 各監事

オブザーバ：川畑・西上・戸谷・後藤

事務局：榎間事務局長，蘆立事務局長代理，他 5 名

配布資料：

平成 16 年度電気学会役員名簿

- 1．研究委託の受託について
- 2．2004 年 4 月会員入（退）会の承認について
- 3．平成 16 年度電気学会 会議体・開催日程表
- 4．平成 16 年度 副会長の職務分担
- 5．電気学会組織および会議体編成図 / 理事会・各種会議体および委員会の構成
- 6．社団法人 電気学会 平成 15 年度事業報告
- 7．電気学会 倫理綱領
- 8．事業概況報告

議事概要：

鈴木総務企画副会長の議事進行により，議案の審議に入った。

1．川村会長挨拶

川村会長から課題はたくさんあるが，順番に片付けていきたい。ご支援・ご協力をお願いする旨の挨拶があった。

2．審議事項

2.1 研究委託の受託について

村岡専務理事および蘆立事務局長代理から資料 1「研究委託の受託について」に基づき，メーカからの外部委託研究で，予算規模は 100 万円（税込）で「第 2 種調査専門委員会 特別委員会」に準じ，研究委員会を設置し研究を受託したいとの提案があり審議の結果，次の問題点が指摘されたため，直近の経営戦略会議で継続審議することとした。

【指摘があった主な問題点】

- ・経営的なりスクの問題など，収支予算書等により受託金額 100 万円の根拠を明確にする必要がある。
- ・委員会構成から見ると，かなり限られた分野の専門家だけで構成されているように思える。委員会構成は白紙の状態を受託し，委員は学会が選定することも考えられる。
- ・学会としては研究成果に対して責任を持たなくてはならない。公益法人が対応すべき研究内容

なのか吟味する必要がある。学会の専門委員会などの場合は、技術報告等を発行し成果が残せる。

2.2 会員入(退)会の承認について

榎間事務局長から資料2「2004年4月会員入(退)会の承認について」に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

- ・個人会員入会者数 : 239名
- ・個人会員退会者数 : 113名
- ・事業維持会員入会数 : 3社(3口)
- ・事業維持会員退会数 : 1社(3口)
- ・事業維持会員口数変更: 増口1社(32口) / 減口5社(35口)

なお、平成16年4月末の会員数は個人会員25,271名、事業維持会員488社(3,382口)となった。

また、5月には会費未納者の除籍予定があり、5月末には会員数が大幅に減少する可能性がある旨および次回は退会者の企業・団体別のリストを提出するとの説明があった。

【会長ご意見】

- ・今後のテーマとして、定年退職した会員等の退会防止のため会員種別の多様化を検討してほしい。

3. 報告事項

3.1 平成16年度年間スケジュール案

事務局から資料3「平成16年度電気学会 会議体・開催日程表」に基づき、現在事務局で把握している主な会議体の開催日程を取りまとめた表である旨の報告および部門・支部役員会等で開催が決まっている日程があれば、事務局へお知らせ頂きたいとの依頼があった。

3.2 副会長の職務分担

村岡専務理事から資料4「平成16年度 副会長の職務分担」に基づき、次のとおり各副会長の職務分担について紹介があった。

- 鈴木登夫 副会長：総務企画担当
- 生駒昌夫 副会長：会計担当
- 雨谷昭弘 副会長：編修担当
- 尾形仁士 副会長：研究経営担当

3.3 平成16年度組織および会議体

村岡専務理事から資料5「電気学会組織および会議体編成図」および「理事会・各種会議体および委員会の構成」に基づき、経営戦略会議の設置に伴い、常任理事会が廃止され関連して企画会議が総務会議と改組されたことおよび役員の出席すべき会議体について紹介があった。

3.4 平成16年度事業計画ならびに平成16年度収支予算について

村岡専務理事から資料6「社団法人 電気学会 平成15年度事業報告」に基づき、平成16年度事業計画は次の5つを柱とする旨および平成16年度収支予算については、当期収入合計932,435千円、当期支出合計910,835千円、当期収支差額21,600千円の黒字予算であるとの報告があった。

相互研鑽（ピア・レビュー）の推進
情報発信の推進
人材育成の推進
社会への貢献と電気技術への理解活動の推進
学会組織・運営基盤の強化

3.5 電気学会 倫理綱領について

村岡専務理事から資料7「電気学会 倫理綱領」に基づき、平成10年5月21日付けで制定された電気学会 倫理綱領の紹介があった。

3.6 事業概況報告について

櫛間事務局長から資料8「事業概況報告」に基づき、平成16年4月の1ヶ月間の事業概況報告があった。

3.7 その他

- ・支援の皆様を含む事務局職員の自己紹介があった。
- ・大韓電気学会2004年夏季学術大会開催のため、次回理事会の開催日程が変更される可能性がある旨の連絡があった。

以上、すべての議案の審議を終了し19時30分閉会した。